

当院は大阪市東部の中核病院であり、交通の要所に位置していることから大阪市内のみならず東大阪市・八尾市・柏原市などの中河内地域さらには奈良県や三重県の一部もその医療圏に含まれています。消化器内科は90床と病床数も多く、診療の中核を担っている診療科です。地域医療連携を介しての紹介も多く、当院での研修では **common disease** から稀な症例まで幅広く経験することができます。消化器内科では、消化管・肝臓・胆膵・抗がん剤治療いずれの専門領域も経験の豊富な指導医が在籍しており、あらゆる疾患に対応が可能です。専攻医は疾患に応じてそれぞれの専門医からの適切な指導や助言を受け、知識と診療技術を習得することができます。

消化管疾患では食道・胃・大腸癌の診断に加えて、早期癌の **EMR/ ESD**、消化管出血に対する止血術をはじめ、数多くの内視鏡治療を行っています。当院では最新の小腸カプセル内視鏡・ダブルバルーン内視鏡も備えており、近年増加傾向である潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患の診療にも力を入れています。

肝疾患では肝癌治療について全国で屈指の症例数と経験を誇り、**TACE** 等のカテーテル治療を消化器内科医自らが施行しています。**RFA** では **Real-time Virtual Sonography** (**RVS**：超音波画像と同一断面に **CT/MRI** 画像を融合させ、リアルタイムに表示する技術) を早くから取り入れており、必要に応じて人工胸水・人工腹水やソナゾイド造影剤を併用することで正確かつ安全に治療を行っています。肝炎治療においては **DAA** 治療を積極的にしており、他院で治療困難な急性肝炎・劇症肝炎も積極的に受け入れています。肝移植の必要があれば京都大学医学部附属病院と連携して治療を行っています。

胆膵疾患は近年特に膵癌の死亡者数が増加傾向となっており、診療ニーズが高まってきています。腹部超音波検査は消化器内科医に求められる基本的な技術ですが、それに加えて超音波内視鏡 (**EUS**) についてトレーニングを積むことが求められつつあり、多くの病院で普及が進んでいます。当院では **EUS** はラジアル型とコンベックス型のいずれも備えており、症例に応じて使い分けてい

ます。膵腫瘍や消化管粘膜下腫瘍に対する EUS-FNA の際には、内視鏡室に備えた顕微鏡を用いて細胞検査技師とともに迅速細胞診に取り組んでいます。ERCP 件数は増加傾向（年間約 500 件）であり、内視鏡室に消化器内科専用の透視室を有していることから、いつでも急性胆管炎などに対する緊急検査が可能な体制です。最新の処置用ショートタイプダブルバルーン内視鏡も備えており、術後腸管の ERCP にも対応可能となりました。

消化器がんの抗がん剤治療にも当院腫瘍内科と連携して積極的に取り組んでおり、症例数は年々大幅に増加しています。

救急疾患にも積極的に対応しており、時間外でも消化器内科医が 24 時間いつでも対応する体制を敷いています。オンコールは専攻医を含む若手医師と指導医の 2 人体制で協力して対応しているため、消化器救急疾患に対するアプローチを丁寧に学ぶことができます。

また、内科専門研修終了後は当院のスタッフとしてさらに臨床経験を積む医師や、大学院へ進学する医師もおり、小さな子供を持つ女性医師は時短勤務が可能であるなど様々な勤務形態に柔軟に対応しているため、各人が自分にあったキャリアプランをたてることが可能です。門戸を広く設けているため、医局の枠を越えて当院で働きたいと考える医師も多く在籍しています。各医師の出身大学は多岐にわたっており、活気あふれた職場であると自負しています。

当科での研修を終える頃には十分な総合的診療能力を身につけることが可能であり、素晴らしい専攻医生活が送れると確信しています。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

スタッフ 一同

見学を随時受け付けています。問い合わせ先 人事課 人事係
jijin@osaka-med.jrc.or.jp

【当科の特徴】

- 1 実践主義
- 2 豊富で貴重な症例
- 3 各分野の専門家が在籍
- 4 消化器内科全般の検査・処置を研修する
- 5 その中でも主に携わりたい領域を重点的に研修することも可能
- 6 積極的な学会発表
- 7 希望すれば海外での学会発表も可能
- 8 学会発表者は国内・国外問わず経済面でも支援
- 9 様々な専門医資格を取得
 - ・日本内科学会認定教育施設 ・日本消化器病学会認定施設
 - ・日本消化器内視鏡学会指導施設 ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 - ・日本肝臓学会認定施設 ・超音波専門医研修施設 etc



※ 超音波下処置室にて (RVS 併用 RFA)

【週間スケジュール 午後 6 時開始】

月曜日 内視鏡カンファレンス

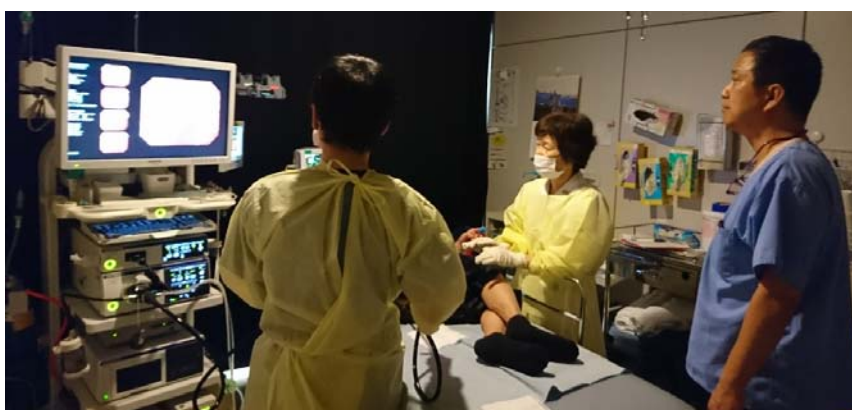
火曜日 肝臓カンファレンス／第 1 週 肝胆膵内科外科放射線科病理合同カンファレンス

水曜日 第 1, 3 週 化学療法カンファレンス

第 1, 3 週 消化管内科外科合同カンファレンス

木曜日 総合カンファレンス

金曜日 胆膵カンファレンス



※ 内視鏡室にて



※ 血管造影検査室にて

【検査・処置件数 2016年度】

(詳しくは年報参照 <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/department/s05.html>)

1	上部消化管内視鏡検査	10460 件
2	下部消化管内視鏡検査	4942 件
3	ERCP	504 件
4	超音波内視鏡検査	345 件
5	腹部超音波検査	10792 件
6	超音波下処置	379 件
7	腹部血管造影検査	513 件



※ 当科が主催した第12回肝臓治療シミュレーション研究会にて



※透視下処置室にて